

エルムパークとの国際交流

2月14日(火)

今年度6回目、最後の国際交流はエルムパーク(retirement village)との交流会でした。

今回はJSJへの児童生徒がエルムパーク(retirement village)を訪問し、日本の文化を伝えたり、一緒に楽しんだりしました。

まず初めに「ソーラン節」の紹介です。北海道の漁師のダンスという英語の説明をG1男児がした後、実際に踊りました。迫力のダンス、大きな掛け声に、約60人の施設利用者さんから大きな歓声と拍手をいただきました。介護士さんの中には音楽が始まると同時に身体が自然と動き出す人も。南ア人の魂にも火をつけたソーラン節でした。

次に「さんぽ」の斉唱です。有名な映画監督ハヤオミヤザキの作品で「となりのトトロ」の歌であることをG2男児が英語で説明した後、英語で1番を、日本語で2番を歌いました。またしても大きな拍手をいただきました。利用者さんの心に響いた素晴らしい斉唱となりました。

その後は「折り紙」作りです。G5女児が英語で説明した後一緒に作り始めました。「かぶと」「風船」「奴さん」等の日本を感じるものから、「4つ葉のクローバー」「うさぎ」「バラ」等の世界中で通じるものまで、様々な物を一緒に作りました。完成した折り紙作品に多くの利用者さんが感動している様子でした。

最後に「年賀状」を渡しました。年賀状は、年の初めに特に仲の良い人に送る手紙。日本には12種類の干支があること。今年がうさぎ年であること。という説明をG1女児が英語で説明し、事前に作った年賀状を手渡しました。心のこもった手書きの手紙に利用者さんは感動しっぱなし。会場中が笑顔に包まれていました。

クロージングセレモニーでは急遽利用者の方一人が前に出てきて、JSJの児童生徒に熱いメッセージを伝えてくれました。素晴らしい時間を共有できたこと。歌やダンスに感動したこと。来年も楽しみだということ。等を丁寧で聞き取りやすい英語で話してくださいました。

JSJの児童生徒は全6回の国際交流で多くのことを学びました。学んだことを日々の生活に活かし、南アでの生活をさらに満喫してほしいと思います。



